グラフ ふくおか

GRAPH FUKUOKA
No.590
2018 SPRING

春



特集

歴史と文化が彩る福岡 魅惑の名園へ

ふくおか農林水産

未来に向けて育てて、活かす、森林づくり



特集

歴史と文化が彩る福岡魅惑の名園へ

豊かな自然や風土とともに育まれてきた、日本庭園。福岡県には、室町時代の画僧雪舟（せっしゅう）ゆかりの庭園や、繁栄を極めた炭鉱王による近代庭園など、さまざまな魅力ある名園が点在します。独特の美意識と芸術性あふれる癒しの空間へ出掛けてみませんか。

旧伊藤傳右エ門氏庭園（飯塚市）

春

グラフ ふくおか

グラフふくおか 春号　SPRING 2018（通巻590号）　平成30年3月20日発行（季刊）
〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号
☎092(643)3102（直通）　ファクス092(632)5331
県ホームページ　http://www.pref.fukuoka.lg.jp/
※グラフふくおかのバックナンバーも掲載しています

03	特集	歴史と文化が彩る福岡 魅惑の名園へ
08	知事の ふるさと訪問	広川町・川崎町・大任町
12	小特集	チカラを合わせて地域課題解決 ～共助社会づくり～
14	ふくおか古代 テクノロジー	古代ハイウェイ、官道を往く
16	きらめき マイタウン	新宮町
22	ふくおか 農林水産	未来に向けて 育てて、活かす、森林づくり
26	平成29年度 福岡県政の動き	
28	県議会だより	
	情報広場	















表紙紹介

福岡県の林業

県土面積の45パーセントを森林が占める福岡県では、今、戦後植林されたスギやヒノキの大半が利用期を迎えています。

そんな福岡県において、特に林業が盛んな地域が朝倉地域です。この地域から多くの木材が出荷されています。

林業は、木材を生産するだけでなく、水源かん養や土砂流出防止などの機能を持つ森林を守り、私たちが安全・安心な生活を営むために重要な役割を果たしています。





名勝

清水寺本坊庭園

「室町時代」

本坊の佇まいも趣がある



名勝

旧藏内氏庭園

「明治後期～昭和初期」

小さいながらも世界観のある中庭

















1.2/本坊からさらに奥へ進むと現れる、本堂や三重ノ塔まで足を伸ばしてみるのもおすすめ　3/本坊の表にある美しいコケもまた、風情がある
4/本坊の縁側に座り庭園を眺めていると、いつの間にか「無」の心になっていることに気付く

5/庭園側からの眺めもまた違った美しさ　6/よく見ると金具の部分やガラス製のシェードにも透かしの家紋が入ったオリジナルの照明
7/さまざまな技法を取り入れた中庭も見応えがある　8/旧藏内氏庭園の魅力を案内してくれた築上町教育委員会の髙尾栄市さん

豊かな自然と一つになった、心癒される名園

みやま市東部に位置する、清水山。その中腹にある清水寺は天台宗の開祖、伝教大師（最澄）によって開かれた古刹です。

画僧雪舟によって造園されたと伝わる本坊庭園は、山水画の世界を表わしたような自然の風景を巧みに取り入れた庭園です。正面の愛宕山と左右の山を借景に取り入れた美しさに加え、庭園の中央に「心」の字を模した池を配置し、2カ所の滝から流れる水が池に注がれています。この滝の流れの醸し出す水の音の響きはこの庭園に静寂と安らぎを感じさせてくれます。

春の桜、初夏の新緑、秋の紅葉と一年を通じて楽しみは尽きませんが、住職の鍋島隆啓さんは何よりその魅力を、「観る人の心を癒すこと」と語ります。

五感をフルに生かし、流れる水音や野鳥の声に耳を澄ます。すると風景の見え方も変わり、庭の方から語り掛けてくる、と。

「この庭を見て自然の素晴らしさを感じたら、それは自分も素晴らしい存在であると気付いているのです。なぜなら人も自然の一部。ここはそんな生きる力を取り戻す場所なのです」。

心静かに眺めていたい。自然と一体となったこの庭は、きっとさまざまなことを教えてくれるでしょう。

清水寺本坊庭園
［住所］みやま市瀬高町本吉1119ー1 ☎0944（62）2001 ファクス0944（62）2080
［拝観時間］9時～17時　［休観］月曜（祝日、11月を除く）、毎月18日
［庭園保存費］大人300円、小中学生100円

煎茶の文化を取り入れた、施主のもてなしを感じる庭園

英彦山系の山々、周防灘の海と、自然に囲まれた長閑な風景が広がる築上町に、明治から昭和にかけて、炭鉱や錫、金などの鉱山経営で繁栄を極めた藏内氏の庭園があります。

実業家としての接客の場、もてなしの空間として造営された広大な庭園は、明治39年に主屋とともに完成しました。

旧藏内氏庭園の見どころは、大きな園池を中心に、二連の反橋、奥に造られた石組の枯滝にあります。当初は、これらが一番美しく観賞できる場所に、応接間を造り、来客をもてなしていました。

会社の繁栄に伴い、大きな接客施設が必要となり、建物を大増築。大勢をもてなせる大広間や煎茶の嗜みもあることから茶室も増築しました。その際に大切にしたのが、やはり庭の眺め。大広間からは山並みを借景に庭全体が見渡せ、庭にせり出した茶室は池を近くに感じるなど、部屋ごとに多彩な景色を楽しめるよう工夫されています。「どの部屋も床の間の前に座ったところからの眺めが絶景であるように設計されており、施主の好みも見えてきます」と見どころを語る髙尾さん。

庭園をはじめ建物の細部にまでこだわった、藏内氏のもてなしの思いを堪能できます。

旧藏内氏庭園
［住所］築上町上深野396 ☎/ファクス0930-52-2530　［開館時間］9時30分～16時30分（入館16時まで）
［休館］水曜（祝日を除く）、年末年始　［入館料］大人300円、小中学生100円



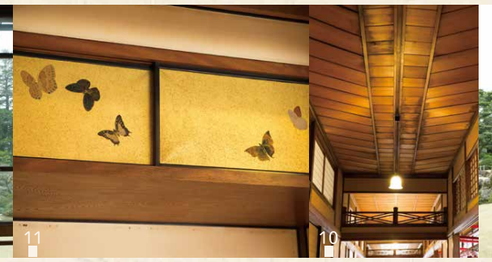
名勝 旧伊藤傳右エ門氏庭園

［明治後期～昭和初期］

2階の居室からの眺めも素晴らしい









9/松の根元には何も植えずにすっきりとすることで広々と開放的に見える　10/平らなのに中央が下がって見える特殊な矢羽天井　11/美しい蝶が描かれた天袋　12/白蓮の居室(2階)からは庭全体が一望できる　13/「現代ではこれほどの邸宅の建築は難しいでしょうね」と、飯塚市教育委員会の毛利哲久さん

広大な庭園に込められた白蓮への心遣い

かつては、長崎街道の宿場町として栄えた飯塚市で、明治に入り筑豊の炭鉱王としてその名をはせた伊藤傳右エ門。面積約7570平方メートルの広大な敷地に、歩きながらさまざまな景色が楽しめる池泉回遊式の庭園を伴う本邸を造営しました。美しい芝庭が広がる園内には、四阿もあり、個人の邸宅とは思えないほどの豪華さです。

本座敷からは、京風にすっきりと剪定された松をポイントに、石灯籠、太鼓橋など変化に富んだ景色が見事で、美しい芝生と一体となった庭園美を楽しむことができます。「主屋から眺める庭の景色はもちろんですが、庭から眺める庭園と建物のバランスの良さも名勝に指定される要素の一つとなっています」と庭園の見どころを語る毛利さん。

傳右エ門が、この贅を尽くした庭園を造るきっかけとなったのは、歌人・白蓮として知られる柳原燁子との結婚です。

嫁入りした白蓮のため建物も増改築、二階にある白蓮の居室は、庭が一番美しく見えるようにと特別に造られたといわれています。

京都から職人を呼び寄せて作らせたという居室には、襖や天袋など、女性らしく優しい誂えが随所に施され、傳右エ門の白蓮への思いが伝わってくるよう。

庭園だけでなく、見応えのある建物にも注目です。

旧伊藤傳右エ門氏庭園
［住所］飯塚市幸袋300 ☎/ファクス0948-22-9700　［開館時間］9時30分～17時(入館16時30分まで)
［休館］水曜(祝日を除く)、年末年始　［入館料］大人300円、小中学生100円



名勝 旧亀石坊庭園

霊峰英彦山に残る名園

修験道坊舎の庭園。洗練された石組と配石が特徴的な室町時代を代表する庭園の一つ。画僧雪舟の作庭と伝わる。

［開園時間］9時頃～16時30分頃
［休　園］無休
［入園料］無料
［住　所］添田町英彦山1346
☎0947-82-5964/
ファクス0947-82-2869(添田町役場)

他にもある国名勝指定の名園

他にも県内には5つの名勝庭園があり、それぞれに個性のある趣を楽しむことができます。



名勝 藤江氏魚楽園

画僧雪舟が描いた理想郷

園名には平和への願いが込められている。仏教の宇宙観に基づき、庭石の一つ一つが仏を表している。

［開園時間］9時～16時
［休　園］月曜・第3火曜
［入園料］300円
［住　所］川崎町安眞木6388
☎/ファクス0947-72-7777
※庭園内には立ち入りできません



名勝 水郷柳河

北原白秋ゆかりの水景

詩人・北原白秋の詩情を育み、作品の源泉となった水郷柳河の優れた風致景観が国の名勝に指定された。

［住　所］柳川市内城下町地区
☎0944-77-8832(柳川市役所)/
ファクス0944-74-2707



名勝 戸島氏庭園

掘割の水を生かした庭

柳川城堀の水を引き入れた池泉観賞式庭園。柳川藩士の隠宅として建てられた数寄屋風の建物とともに雅な空間をつくる。

［開園時間］9時～17時(入館16時30分まで)
［休　園］火曜・年末年始
［入園料］100円
［住　所］柳川市鬼童町49-3
☎/ファクス0944-73-9587



名勝 立花氏庭園

旧柳川藩主の歴史遺産

仙台の松島を模したといわれる「松濤園」をはじめ、洋風の西洋館前庭など敷地内には趣が異なる庭園が広がる。

［開園時間］9時～18時
［休　園］無休
［入園料］500円(立花家史料館入館料を含む)
［住　所］柳川市新外町1
☎0944-73-2189/
ファクス0944-74-0872

福岡県の庭園



政所坊庭園

［開園時間］9時頃～17時頃
［休　園］無休 ※行事法要の際は拝観できない場合あり
［入園料］無料
［住　所］添田町英彦山1346
☎0947-82-5964/
ファクス0947-82-2869(添田町役場)



守田蓑洲旧居

［開　館］土・日曜、祝日
10時～17時(入館16時30分)
［入館料］無料
［住　所］行橋市沓尾181
☎0930-25-1111/
ファクス0930-25-0299(行橋市役所)



旧竹内家住宅

［開　館］金・土・日曜 11時～15時頃
［入館料］事前に食事の予約が必要
［住　所］築上町大字伝法寺587
☎080-1760-3633
(古民家食庵 伝法寺庄)



友泉亭公園

福岡藩6代藩主、黒田継高の別邸屋敷内の池泉回遊式庭園。礎石や灯篭、シイ、マキなどの古木、大木が残る。回廊を持つ17.5畳の大広間から庭園を眺めると静寂な空間の広がりを感じることができる。

［開園時間］9時～17時頃
［休　園］月曜(祝日の場合翌日)年末年始
［入園料］大人200円、中学生以下100円
［住　所］福岡市城南区友泉亭1-46 ☎/ファクス092-711-0415

知事のふるさと訪問

小川知事が県民の皆さんと直接触れ合う「知事のふるさと訪問」。学年を超えての活動に取り組む小学校や伝統の久留米絣を扱う観光拠点などを訪ねました。



広川町（ひろかわまち）

平成29年11月30日

広川町立上広川小学校



上広川小学校では、異なる学年の児童たちが一緒に行事や児童会活動などを行う「なかよし班活動（縦割り班活動）」を実施。児童のリーダーシップや協調性を育んでいる



各学年の児童が集まって行われる清掃活動。知事もほうきを持って参加





図書委員による読み聞かせ活動

九州ベストフーズ株式会社

食物アレルギー対応製品の製造を行う同社では、徹底した品質・衛生管理のもと、「食物アレルギーのある子にも無い子にも同じ給食を食べてもらいたい」との思いで、乳・卵を使わないハンバーグなどを製造している









ハンバーグや肉団子などを試食した知事は「普通のハンバーグや肉団子と比べても違和感がないですね。おいしい」と完食

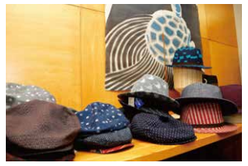
ひろかわ藍彩市場



久留米絣のジャケットを試着した知事は「軽くて体にフィットした良いデザインですね。若い後継者に産地を元気にしてほしい」と語った







広川町商工会直営の物産販売所で、特産品である久留米絣の反物、洋服、小物などを豊富にそろえている

広川町産の「あまおう」の風味が広がるふわふわ食感の菓子「初恋ぶっせ」。店頭で買えるのは、ここだけ

笑顔キラキラ教室（特別養護老人ホーム 若久園 多目的ホール）



実際に体力測定に挑戦した知事



今回は介護予防に関わる連携協定を広川町と結んでいる「久留米リハビリテーション学院」の学生の指導による体力測定が行われた



町が養成した介護予防サポーターの皆さんが運営する介護予防教室。サポーター自身のスキルアップの場でもある

対談 地域で頑張る皆さん



伝統工芸品や農産品のほか、工業団地もあり、働きながら安心して長く住める町です。力を合わせて盛り上げていきましょう



「広川町商工会青年部」の坂田和生（さかたかずお）部長。7年前、青年部で考案した、自慢の「あまおう」を使ったまちおこしスイーツ「初恋ぶっせ」は好評で、これまで 3 万個以上を売り上げた



「子どもたちにグローバルな感覚を」と願っている、「広川町国際交流協会」の塩澄文子（しおずみふみこ）副会長。留学生との交流やホームステイの受け入れ支援、イベントの企画運営などを行っている



「広川町消防団」の原和敏（はらかずとし）副団長。防災訓練や応急手当講習、女性団員による独居老人世帯訪問などを実施。消防団活動を通じて次世代リーダーを育てたいと考えている



「久泉地区まちづくり委員会」の綾戸信之（あやとのぶゆき）委員長（写真上）と樋口（ひぐち）りか文化部会長。平成21年に地域づくり計画書「区づくり将来美ジョン」を策定し、地域課題解決のため、さまざまな事業に取り組んでいる。地区の文化祭は、年代を超えたコミュニケーションの場づくりや地域の人材発展につながっている





「里の駅広川くだもの村」の中村（なかむら）淳一（じゅんいち）さん（写真上）と裕季子（ゆきこ）さん夫妻。14 年前に 3 農家で直売所を始め、10 年前に観光農園としてスタート。イチゴ狩りのシーズンには外国人観光客も訪れるほどの人気で、昨年はブドウ園を活用したイベントも開催。加工場を備えた店舗では、手作りジェラート、ジャムのほか、ケーキなどのスイーツも製造販売している



団体紹介

広川町商工会青年部



創立 48 年の部会で、現在の会員数は 56 人。「初恋ぶっせ」の販促用キャラクターとして制作した「広川まち子ちゃん」は後に広川町からも公認され、さまざまなシーン、グッズに使用されている

知事のふるさと訪問

平成30年1月23日



小川知事が県民の皆さんと直接触れ合う「知事のふるさと訪問」。多くの観光客が訪れる川崎町の国指定名勝庭園や西日本最大級の広さを誇る大任町の道の駅などを訪れました。

大任町（おおとうまち）

株式会社おおとうニンニク食品



平成28年に大任町とJAたがわの共同出資で設立された食品会社。大任町の特産品として愛されている栄養補助食品「手づくりニンニク球」の製造・販売を行う



同社では、「黒にんにくドレッシング」などの新商品の開発にも取り組む。道の駅で購入可能





はさみで一粒ずつ同じ大きさに切って作られる「ニンニク球」

道の駅おおとう桜街道



西日本で最大級の広さを誇り、年間120万人以上の人が訪れる道の駅。新鮮な農産物などがそろう直売所では、大任町が環境保護と町おこしのシンボルと位置付けているシジミを使った商品も人気



オープン当初から話題を集めている１億円トイレ。ぜいたくな空間は町の名所に



大任町では温泉館にある薬石浴を利用して医療費の削減と町民の健康増進を図る「すこやかライフモニター」事業を実施。参加者の皆さんから話を聞いた

川崎町（かわさきまち）

藤江氏魚楽園（ぎょらくえん）



室町時代の画僧雪舟が築庭したと言われる国指定の名勝庭園。石を多く積む部分（写真奥）は「荒々しさ・若さ」を、池の部分（写真手前）は「静寂・落ち着き」を表現している



窓を額縁に見立てて１枚の絵画を見るように眺められる



敷地内にある和モダンカフェ「亀草庵（きそうあん）」。オリジナルのスッポンエキス入り蜂蜜「亀蜜（かめみつ）」をかけたフレンチトーストは絶品



川崎町農産物直売所 De・愛（で・あい）

温かく出迎えてくれたスタッフ・出荷者の皆さん





地元の朝採れ野菜を中心に果物、生花、特産物を使った加工品や総菜を販売している



「町を訪れるきっかけにしてもらいたい」との思いから、地元企業が鉄板焼き店を敷地内に併設

対談　地域で頑張る皆さん



2つの町には観光や農業などさまざまな資源があります。それらを集めて活用し、地域の特色を生かした取り組みをすることが大事だと思います。皆で知恵を出し合い、いろいろな立場から町を盛り上げてほしいです



大任町商工会女性部の永原美紀（ながはらみき）さん。町の花であるツバキを利用した「つばき油」の商品化やシジミを使った「しじみ汁」の開発などで大任町のPRに取り組む



道の駅おおとう桜街道の梅林英三（ばいりんえいぞう）支配人。平成22年のオープン以来、来場者は800万人を超え、町の観光拠点となっている。高齢者や障がい者の雇用にも積極的



株式会社おおとうニンニク食品の松崎一章（まつざきかずあき）所長。大任町の特産品である「手づくりニンニク球」はもちろん、新商品の開発にも力を入れるなど、地域の農業振興に貢献している



果樹園のレストランとして人気の有限会社ラピュタファームの杉本利雄（すぎもとしお）代表取締役。旬の食材を生かしたランチバイキング、加工品販売、果物狩りなどを通して川崎町の魅力を発信



豊前川崎商工会議所青年部の最所豊（さいしょゆたか）会長。青年部主催の「まつりふっとうてん」は町をアピールする大きなイベント。昨年の豪雨災害時は被災地へ迅速な支援物資提供を行った



日本庭園の魅力を伝えるために活動する藤江氏魚楽園当主の藤江敬子（ふじえけいこ）さん。紅葉のライトアップ、和モダンカフェ、駐車場の整備などにより町内外から多くの観光客が訪れている

団体紹介

Big Sisters OTO姫（おとひめ）

町のPRのために活動する大任町商工会女性部のパフォーマンスユニット。手作りのスコップ三味線を持ち、自分たちで作詞した地元愛あふれる曲を町村フェアや各種施設などで披露。今後もさまざまな場所で歌いたいと張り切っている



チカラを合わせて地域課題を解決 共助社会づくり



福岡県では、さまざまな分野で活動し、地域課題を解決するサービスの担い手として大いに期待されるNPO・ボランティア（以下、「NPO」という。）と、企業、行政などの多様な主体が、互いに支え合い、共に助け合い、地域の課題を解決する「共助社会」の実現を目指し、NPOの運営面の支援、共助社会への理解促進などを進めています。

ふくおか共助社会づくり表彰

「ふくおか共助社会づくり表彰」は、NPOの社会的な信頼性向上を図るとともに、NPOや企業、行政などによる協働の優れた取り組みを、県民の皆さんに広く発信するものです。



平成29年度「ふくおか共助社会づくり表彰」を受賞した「ふくおか筑紫フードバンク」の関係者の皆さん

福岡県共助社会づくり基金・ふくおか地域貢献活動サポート事業

「広く地域課題の解決を図る取り組みを応援したい」という県民や企業の皆さんの思いを「寄付」という形でお預かりし、NPOが多様な主体と協働して地域課題の解決に取り組む社会貢献活動へとつなぐ「福岡県共助社会づくり基金」を設置しています。

お預かりした寄付は、基金の主旨に沿った活動を支援する「ふくおか地域貢献活動サポート事業」に活用しています。



このホームページは、「ふくおか地域貢献活動サポート事業」を活用し、作成された。広報の充実など、NPOの活動支援の方法の一つとしても活用されている

基金の仕組み



共助社会づくりに関する県の取り組みについて、詳しくはこちらから
福岡県NPO・ボランティアセンターホームページ　https://www.nvc.pref.fukuoka.lg.jp/

それぞれが得意分野を生かし、子ども食堂を開催

「ふくおか地域貢献活動サポート事業」を活用して活動を活発化し、「ふくおか共助社会づくり表彰」を受賞した、子ども食堂の運営を支援するフードバンク活動を行う「ふくおか筑紫フードバンク」の取り組みをご紹介します。

特定非営利活動法人チャイルドケアセンターは、長年、大野城市を中心に乳幼児の子育て支援や学童保育を運営し、子どもたちと日々触れ合う中で、「地域の大人も巻き込んで、この子どもたちの元気を地域に広げ、地域を活性化できないか」と考えました。そこで、人が集まりみんなが笑顔になる子ども食堂の継続的な支援を目的に、寄付された食材を子ども食堂に届ける「ふくおか筑紫フードバンク」を立ち上げました。企業や行政、子ども食堂を運営する地域の方々と協働し、それぞれの得意分野を生かして支え合うことができるようなネットワークづくりを進めています。



食事中には子どもたちに笑顔があふれる



ボランティアによる催し物を通じて、子どもたちは遊びや学びの体験を深める



フードドライブ活動の実施回数はまだ少ないが、今後も定期的に継続する予定



2月に実施されたフードドライブ活動では、多くの食材が寄付された

団体3 大野城市

役割

- 冷蔵・冷凍庫の購入費のための補助金の交付
- 市ホームページやチラシによる広報活動
- 規約や申請資料などの作成支援

市内で開催される子ども食堂へフードバンクや他の子ども食堂の情報を提供したり、ホームページやチラシによる広報活動の支援を行っています。子ども食堂が継続的に開催され、子どもたちにとって「地域の居場所」となってほしいと思っています。



大野城市
こども部
こども未来課
安地（あんち） 沙織（さおり）さん

団体2 西松建設株式会社

役割

- 子ども食堂の開催場所の提供
- 冷蔵・冷凍庫の設置場所として、独身寮の空き室を提供
- 電気代の負担
- 資金の提供

私たちは建設業なのですが、強い思いがあれば業種は関係なくこうした取り組みに参加することができると実感しています。子ども食堂開催の際は、近隣の方々がボランティアに来てくださるので、地域住民の方とのつながりもできました。



西松建設株式会社
九州支社
福岡事務管理室
多田（ただ） 哲（さとる）さん

団体1 エフコープ生活協同組合

役割

- 食材の保管・場所の提供
- 食材の寄付をしてくれる会社の紹介
- 衛生管理の講師の派遣
- 食材の寄付を募り、フードバンクへ提供する「フードドライブ活動」

食材の保存や扱い方に対するノウハウがあるので、それを役立てることで取り組みに参加しています。お米などのかさばるものも大切に預かっていますので、たくさんの子どもたちに安心しておいしく食べてほしいですね。



エフコープ
生活協同組合
組合員活動部
安元（やすもと） 正和（まさかず）さん

協働



特定非営利活動法人 チャイルドケアセンター

役割

◉ふくおか筑紫フードバンクの運営 ●食材の寄付の受付、管理、分配など

特定非営利活動法人
チャイルドケアセンター
吉田（よしだ） まりえさん

私たちが目指す子ども食堂は、食事だけではなく、子どもたちがさまざまな体験や交流ができる、そして安心できる居場所となることです。財源の確保などまだまだ課題はありますが、企業や行政、そして地域の方々と一緒に、子どもたちを支える活動の輪を広げ、地域コミュニティの活性化に貢献したいと思います。

「ふくおか筑紫フードバンク」について、もっと知りたい人はこちらから
ふくおか筑紫フードバンクホームページ　http://chikushifoodbank.net/

ふくおか 古代テクノロジー
FUKUOKA ANCIENT TECHNOLOGY
第4回

古代ハイウェイ、官道を往く

古代の道といえば、人一人がやっと通れるような小道を想像しませんか？実は、場所によっては現代の4車線道路に匹敵するような大きな道が、都のあった近畿地方から各地方の拠点まで伸びていたのです。今回は、この古代の道である「官道」を探るために、みやこ町を訪ねました。



みやこ町の官道推定ラインと関連遺産

官道は、現在ではその姿をほとんど見ることはできなくなったが、「菅原道真が通ったかも…」など、想像を膨らませながら現地を巡るのも面白い。



1 甲塚方墳
【かぶとづかほうふん】
6世紀後半に築造された九州最大級の方墳。墳丘の方位は、主軸がほぼ南北方向を向いている
（写真提供：みやこ町教育委員会）



2 豊前国府跡
【ぶぜんこくふあと】
奈良時代に豊前国に設置された国の役所跡。都から赴任してきた国司が政治を執り行った
（写真提供：みやこ町教育委員会）



3 豊前国分寺跡
【ぶぜんこくぶんじあと】
奈良時代、聖武天皇によって全国の国ごとに建てられた官寺の一つ。戦国時代に消失したが、江戸時代に復旧し、現在の三重塔は明治時代に建て直された

4 カワラケ田遺跡
【かわらけたいせき】
東九州自動車道建設に伴い、実施した発掘調査では、大宰府から豊後国府とを結ぶ幅9メートルの官道跡を確認した
（写真提供：九州歴史資料館）

高速道路と重なる官道

官道の特徴は道幅だけではありません。都と各地方の拠点を最短距離で結ぶために、ひたすら直線的に整備されました。中には直線距離が30キロメートルに及ぶところもあります。丘陵は掘削し、くぼ地を埋め立て、川には橋を架けるなど大規模な土木工事が行われました。そのルートは、現代の高速道路と重なる部分が多く、実際、みやこ町の「些見地区官道跡」は東九州自動車道のみやこ豊津インターチェンジと同じ位置にあります。



九州の官道推定マップ／古代の西海道のルート。現代の高速道路や幹線道路と重なる点が多い。現在の日本の高速道路網が総長6500キロメートルに対し、官道は6300キロメートルと、その距離がほとんど変わらないのは驚きだ



些見官道発掘調査／東九州自動車道の工事の際に発見された官道。道路の断面を見ると異なる土をつき固めているのがわかる
（写真提供：九州歴史資料館）

当時の最新技術を駆使

このように大規模な官道整備は、何らかの専門的な技術者集団が関わり、その技術は大陸からもたらされた当時最先端のものだったと考えられています。官道の遺構からは路盤補強の跡である波板状遺構や、アスファルトのように黒色土を敷き、つき固めた跡も発掘されました。また、排水のために側溝を設けるなど、現代の道路と変わらない工夫も施されていました。



カワラケ田遺跡から検出された波板状遺構
（写真提供：九州歴史資料館）



古代の鋤／みやこ町で出土した5世紀のスコップ。時代は異なるが道具の形はそう変わらない。このようなものが官道工事に使われていたと思われる

官道は駅伝のルーツ？

官道では、「駅制と伝馬制」という交通システムが敷かれました。「駅制」とは、都と地方を結ぶ緊急通信制度。およそ16キロメートルごとに設けられた「駅家」には、宿泊施設や人、馬を配置し、馬を乗り継ぐことで、いち早く情報を伝えることができたのです。一方、「伝馬制」は、都から特命任務を帯びた使者を地方へ送迎する交通制度。郡家（郡の役所）ごとに置かれた馬を乗り継ぎ目的地へ向かいました。

このような古代の交通システムと、中継地点間の速さを競い、襷を渡すスタイルが似ていることから、「駅制と伝馬制」はスポーツの「駅伝」の語源になったという説があります。



みやこ町歴史民俗博物館

〒824-0121 みやこ町豊津1122-13
☎0930-33-4666 ファクス0930-33-4667
［開館時間］9時30分～17時（入館16時30分まで）
［休館］月曜・祝日の翌日・年末年始



「京築地方は古代においては、瀬戸内海の後方支援基地であり、都と大宰府、宇佐を結ぶ拠点地域でした」と語る

郷土の歴史と暮らしに触れる、楽しむ。

みやこ町歴史民俗博物館内では、みやこ町出身で、夏目漱石の門下、ドイツ文学者、文芸評論家であった小宮豊隆の資料1000点を展示した「小宮豊隆記念展示室」をはじめ、みやこ町の古代から近代までがわかる歴史コーナーや、祭事や信仰、昔の生活道具を集めた民俗コーナーなど、みやこ町が誇る文化遺産を展示しています。また、古代建築風の壮麗な建物は、この地に古代文化の拠点「国府・国分寺」が置かれていたことをほうふつとさせます。

Kirameki My Town きらめき マイタウン

新宮町（しんぐうまち）

美しい自然と
深い歴史に
育まれたまち

鼻栗瀬（めがね岩）（はなぐりせ）

海水による浸食を受けてできた大きな穴が特徴の、高さ20メートル、周囲100メートルの岩。相島（あいのしま）の東の海上にあり、絶好の釣り場としても有名。平成18年に相島の鼻面（はなづら）半島とともに「県指定名勝」となっている



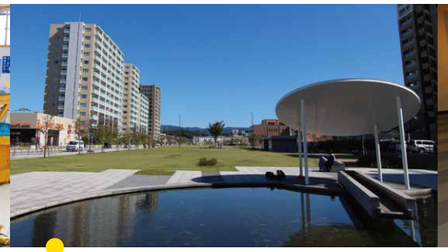
太閤水

かつて太閤・豊臣秀吉が九州平定の際、博多からの帰路に喉を潤したとされる井戸。同行した茶人・津田宗及（つだそうきゅう）が掘ったもので、秀吉にちなみ「太閤水」と呼ばれている



ひとまるの里

町内で採れる新鮮な野菜や果物、海産物の販売所で、午前中には大半の商品が売り切れてしまうほどの人気ぶり。相島直送の魚が販売される日はこいのぼりが上がる



沖田中央公園

JR新宮中央駅東口の目の前にある公園。人工のせせらぎや広々とした芝生の広場などがあり、水と緑を楽しめる空間に。町の新しいランドマークになっている



新宮町立歴史資料館（シーオーレ新宮内）

数多くの遺跡や史跡が残る新宮町。町立の歴史資料館には、これらの貴重な資料が展示されており、子どもから大人まで楽しく歴史を学ぶことができる



横大路家住宅（千年家）

国の重要文化財に指定。最澄が寄宿したお礼に「法理の火（唐から持ち帰った火）」などを授けたという伝説があり、火は1000年以上もの間、住宅のかまどで守られていた



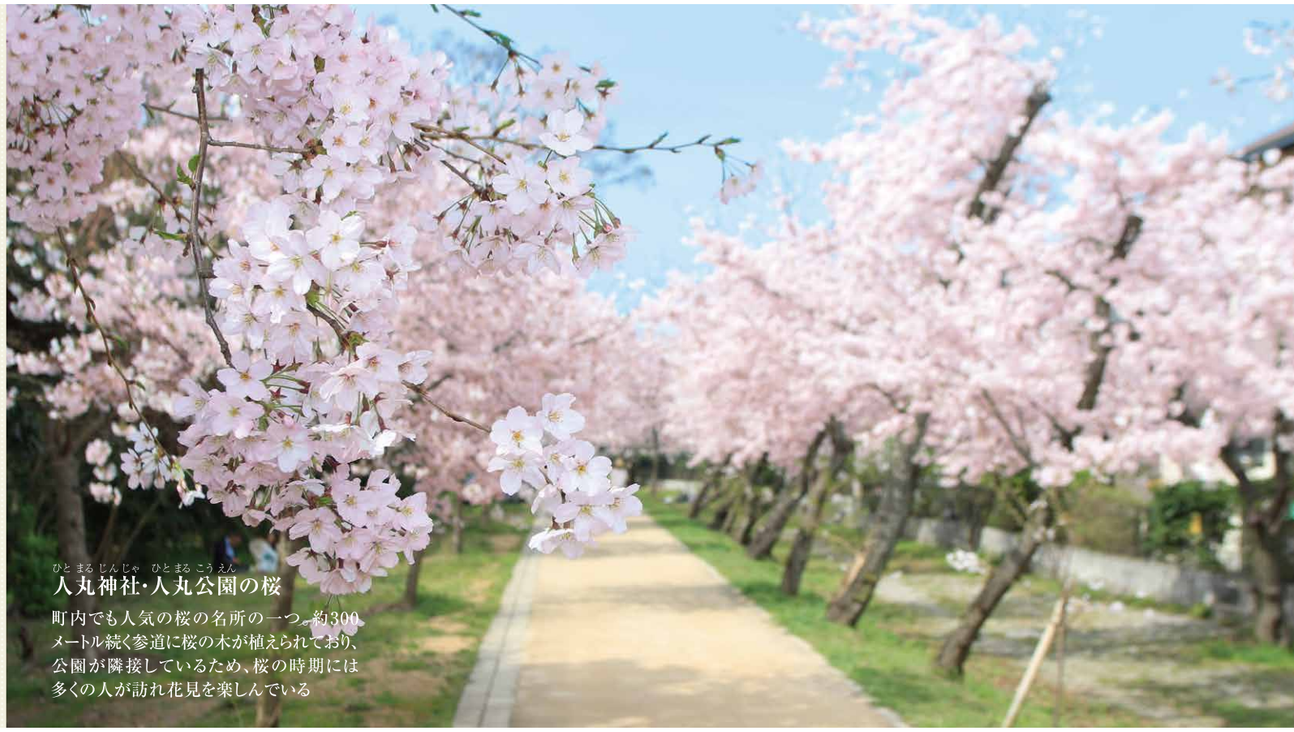
新宮海岸

弓なりに続く通称「パラソルのふち」と呼ばれる美しい砂浜と、「楯（たて）の松原」といわれる松林が特徴。松林は、文字通り防風・防砂の「楯」としての役割を担っている

多くの人が集い憩う心地よい場所

福岡市の中心部から車で約30分。交通の便が良く、多くの商業施設も立ち並ぶ新宮町は、新しいまちづくりも進むにぎやかなまち。その一方で、緩やかに弧を描く白砂青松の海岸や緑あふれる森林、ホタルがすむ小川など、自然豊かなまちという魅力も併せ持っています。

また、休日になると、"子どもでも楽しく登れる山"として親しまれる立花山や、"猫の島"として話題の相島に、県内外はもちろん海外からも多くの観光客の姿が。そんな新宮町は、人々が集う憩いの場として注目を集めています。



ひとまるじんじゃ ひとまるこうえん
人丸神社・人丸公園の桜

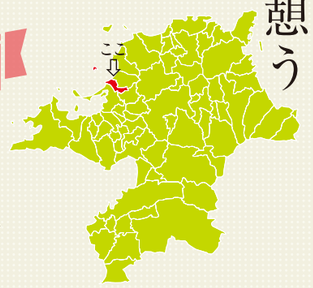
町内でも人気の桜の名所の一つ。約300メートル続く参道に桜の木が植えられており、公園が隣接しているため、桜の時期には多くの人が訪れ花見を楽しんでいる



ご当地キャラ紹介

新宮町マスコットキャラクター
ジロちゃん

新宮町の鳥、メジロのジロちゃん。大きな瞳の中には町章がキラリ。



新設中学校・防災活動拠点整備



完成イメージ

人口増加に伴い、新宮町2校目となる中学校を平成31年4月に開校します。現在、開校準備委員会で校歌・校章をはじめ、学校の運営について検討しているところです。また、災害時には防災活動拠点となる「新宮ふれあいの丘公園」を併せて整備中。普段は健康の維持増進のための運動施設として利用でき、住民の皆さんに親しんでもらえる場所となるよう準備を進めています。

問い合わせ

新宮町役場
新宮町緑ケ浜1-1-1
☎092-962-0231（代表）
ファクス092-962-2078
http://www.town.shingu.fukuoka.jp



相島積石塚群

墳丘が石で積み上げられている全国的にも珍しい古墳群で「国指定史跡」となっている。古墳の数は現在までに254基確認されており、最も大きい120号墳（写真）は全長20メートルほど



立花山大クス

近年、登山で人気の立花山。山頂付近には樹齢300年を超えるクスノキが約600本自生しており、「立花山クスノキ原始林」として国の特別天然記念物に指定されている



観音遷座祭（かんのんせんざさい）

鐘や太鼓が鳴り響く音にちなみ「ドンドンカン」と呼ばれている相島の夏の祭り。神宮寺の観音様を山の観音堂に遷座（せんざ）する青年たちの伝統儀式



まつり新宮

毎年11月に開催される新宮町の魅力発信イベント。地元で採れたての野菜や海産物、加工品などがブースに数多く並ぶ。また、バラエティーに富んだステージパフォーマンスなども祭りを盛り上げている



新宮町のイチゴ

新宮町の特産品であるイチゴ。新宮小学校の3年生は、体験学習として1年間かけてイチゴを育てており、楽しくおいしく特産のイチゴについて学んでいる

pick up ピックアップ

布の絵本製作ボランティア ファンタジア

温かい手作り絵本を子どもたちのために

22年前に発足した「ファンタジア」は、布の絵本を製作し図書館に寄贈するボランティア団体。9人のメンバーのうちリーダーである内山加代美（うちやまかよみ）さんを含む3人は発足当時から参加しており、寄贈した絵本は100冊を超えています。一針一針思いを込めて作られた絵本は、どれも布と手作りの温かみを感じられるものばかり。細かい仕掛けなどが施されたものも多いため、壊れてしまったり小さな部品がなくなったりすることも多いのですが、そのたびに修理をしながら大切に使われています。

絵本製作のほか、年に一度新宮町立図書館が開催し、メンバーが講師を務める「布の絵本の講座」も好評。「縫い物が苦手なお母さんが少しずつ上手になっていって、一緒に来た子どもが作品をうれしそうに持って帰る姿を見るとやりがいを感じます」と内山さん。「好きじゃないと続きませんよ」と笑顔で語ります。



1/左から3人目が内山さん。新宮町立図書館では、「ファンタジア」の作品の一部を閲覧することができる（貸し出しは団体での読み聞かせなどに使用する場合のみ）　2/小さな子や障がいのある子でも、触って遊べる楽しい仕掛けのある絵本やおもちゃがいっぱい　3/「じごくのそうべえ」（童心社）の手作り絵本は完成までに3年かかったという大作。生地や縫い方の工夫から生まれた立体感で、物語の迫力が増している

相島少年消防クラブ

相島の安全安心と未来を担う頼もしい中学生たち

相島では、かつて、男性たちが漁に出ている間に火が上がり、女性と子どもだけでは消火活動を十分に行えず、島の大半が焼失する大火災がありました。これを教訓に、「自分たちの島は自分たちで守る」と立ち上がったのが、島の中学生たち。昭和23年に現在の「相島少年消防クラブ（通称BFC）」につながる防災活動を開始し、70年間受け継がれています。

主な活動は、島民の防災意識を高めるために行う週に4日の夜回り活動と、出初式や運動会でのポンプ操法のお披露目。夜回り活動は生徒たちだけによる自主活動で、「火の用心」の声出しや野焼きの火の後始末の確認などを行います。「ポンプ操法は難しく練習も大変。でも、小さい頃から見て憧れていた。集大成の運動会では、これまでで一番美しいポンプ操法を見せたい」と、中隊長の三舩一瑳（みふねいっさ）さんと小隊長の丸山京汰朗（まるやまきょうたろう）さん。伝統あるクラブの一員として、大切な故郷・相島の安全安心を守るため日々奮闘しています。



1/新宮中学校相島分校の全生徒が隊員となるBFC。現在は、引退した3年生を除く7人で活動している。平成28年には防災功労者内閣総理大臣表彰を受けた　2/地域防災活動の中でも、BFCのように生徒主体で行われているのはまれ。生徒たちは活動を通して、自主性や規律などを身につけ、大きく成長している　3/学校活動の一環として行っているポンプ操法。本土から招く消防士や地域の方による指導を受け、本格的に訓練を重ねている

相島ドリームワークス

春の風物詩「相島！春フェスタ」で相島の魅力と元気を発信

今や相島を代表する毎年恒例のイベントとなった「相島！春フェスタ」。「島めぐりツアー」や「漁船クルージング」、「お魚つかみどりコーナー」などさまざまなイベントが行われ、島には町内外から約800人の観光客が訪れます。その企画・運営を行っているのが「相島ドリームワークス」です。入会の条件は“相島の活性化”を願う者であることのみ。そのため、平成25年の発足後、メンバーは自然と増え続けており、それぞれが自分の仕事や趣味、得意分野を生かして「春フェスタ」を盛り上げています。

「最近は猫で注目されているけれど、それははやりもの。猫ブームが終わっても人がたくさん来てくれて、島がもっと元気になるようなイベントをつくっていきたい」と代表の三舩清和（みふねきよかず）さん。「島を好きになってもらい、移住してくれる人も増えてくれれば」と願います。



1/「誰かのちょっとした思いつきが企画として実現することもある」と話す代表の三舩さん（右から2番目）。個性あふれるメンバーが力を合わせて「春フェスタ」を盛り上げている　2/「お魚つかみどりコーナー」は毎年大人気。「もっと大きいの!」、「その魚じゃなくて!」など、参加者の家族からの声援がおもしろいのだとか　3/「島めぐりツアー」では、相島の中学生たちが史跡や絶景スポットをガイド

Tachibana All Powers

竹林整備で伐採した竹を使ってふるさとに灯を

町の東部にある三城岳（さんじょうだけ）は、かつてミカン栽培が盛んでした。しかし、後継者不足のためミカン畑が現在では竹やぶに。この状況を「何とかしたい」と地域の人たちが発足したのが「Tachibana All Powers（通称TAP）」です。竹を伐採して散策路を整備し、山頂に展望台を築く計画を進めています。「展望台造りは九州産業大学が協力してくれています。山頂までの道はまだまだ時間がかかりますが、完成したら観光客を呼び込みたい」と会長の堀田晴夫（ほりたはるお）さん。過疎化が進む地域のために、活性化への糸口を探しています。

また、伐採した竹を有効利用するため、「竹灯籠まつり」を開催。昨年は、立花小学校の児童や近隣住民の協力も得て6000丁もの竹灯籠を作り、集落を温かな光でいっぱいにしました。今後は竹を粉砕して肥料にするなど、さらなる有効活用法を検討しています。



1/TAPのメンバーは20～70代までの25人。平成28年に結成され、竹灯籠まつりの認知度も少しずつ高まっている　2/「竹灯籠まつり」のほかにも、伐採した竹を利用して竹細工や流しそうめんなどを小学生たちと楽しんでいる　3/広場や神社の境内、道路の両側に…といろいろな場所に置かれる竹灯籠。さまざまなデザインが施されており、眺めているだけでも楽しい

ふくおか
水 農 産 林
FUKUOKA Nōrin suisan

未来に向けて育てて、活かす、森林（もり）づくり

海山の幸に恵まれ、豊かな食文化を誇る福岡県。このコーナーでは、福岡県の農林水産業に従事する「人」と、旬の福岡の「食」、そして、それらを「支える」取り組みなどを4回にわたりお伝えしています。最終回は、林業の世界に飛び込んだ若き担い手を訪ねました。

これからの担い手



全くの未経験から、林業のプロを目指す前村浩史（まえむらひろふみ）さん

初めての林業に挑戦

森林の面積が約55％を占め、県下でも有数の林業地域とされる、朝倉市、筑前町、東峰村。それら一帯の林業を担う朝倉森林組合で、前村浩史さんが働き始めて2年になります。前村さんは、沖縄県の出身。ここへ来るまでは沖縄のリハビリ専門学校で学んでいましたが、東峰村に暮らす祖母に勧められて林業の世界へ。それまで経験のなかった新たな仕事に挑んでいます。

現在は、先輩技術者の下で、樹木の伐採作業の補助やシカによる食害を防ぐ防護ネット張りなどを行いながら、福岡県林業労働力確保支援センターが実施する「緑の雇用」事業の研修生として、勉強する日々です。この研修では、未経験者でも林業に必要な知識や技能を身に付けられるよう、きめ細かなカリキュラムが用意されています。この研修を受けることで林業に従事する技術者にとって必要なさまざまな資格取得も可能です。「働きながら資格を取れるのが魅力」と話す前村さんは、今日も実践を重ねながら林業を支える技術者として成長しています。

林業で森林を守る

昨年7月の九州北部豪雨では、記録的な降雨により、森林の山地災害防止機能を超え、多くの林地が崩壊しましたが、防災・減災を図る上では、森林の機能を持続的に発揮させることが重要であり、間伐などの手入れを引き続き進めていくことが必要です。その意味でも、期待されるのが前村さんのような林業を支える担い手です。「日々覚えることがいっぱいですが、これからも森林を守る林業を頑張りたい」と前村さん。地元の人たちの温かいまなざしに見守られて、今日も彼は地道に森林と向き合っています。


4


5


2 3


1




8


7


6

1.倒す方向に向かって切り込みを入れる作業は、経験を積みながら覚えるしかない。ベテラン技術者に聞くと前村さんは「筋が良い」のだそう　2.狙った方向に樹木が倒れていく　3.伐採した樹木は一定の長さに切りそろえる。急斜面での作業は危険を伴うため特に慎重に行う　4.伐採した木材を運搬する重機の操作も林業に従事する技術者に必要な資格の一つ　5.樹齢40～50年くらいが木材にするにはちょうど良い大きさ。年輪が均等に詰まっているものほど良質といわれる　6.7.根元の部分や半端な長さの木材は薪に加工し販売している　8.前村さんと朝倉森林組合の技術者の皆さん



食

福岡自慢の物産

温暖な気候と豊かな
自然に恵まれた福岡県は、
野菜、果物、米、肉、魚……と、
数多くの県産ブランドを持つ
全国に名だたる農林水産物の生産県。
こだわりの逸品がそろっています。



博多なす

あくが少なく、柔らかな食感が人気

20～25センチメートル程度の中長ナスで、全国第3位の生産量を誇ります。あくが少ないのが特長で、皮が柔らかく、油との相性も抜群。和洋中どんな料理にもよく合います。安全・安心なナスを消費者に届けるため、「博多なす衛生管理マニュアル」に基づき栽培されています。



ラー麦

福岡のラーメンのために開発されたラーメン用小麦



全国有数のラーメンどころである福岡で、ラーメンのために開発された小麦です。コシがあって歯切れがよく、ゆで伸びしにくいなど、福岡のストレートな細麺にぴったり。ラー麦の使用店舗は年々増加。福岡のラーメンに欠かせない存在となっています。

たけのこ

質、量ともに国内随一の産地

全国の生産量の約4割を占める福岡県は、11月の「早掘り出荷」から5月まで長期にわたって出荷を行う国内最大の産地です。あくが少なく、風味豊かな味が特長で、北九州（合馬地区）や八女地域など全国に誇る名産地があります。



花き

全国有数の出荷量を誇る花づくり



トルコギキョウ

全国第3位の出荷量を誇る、花づくりの盛んな福岡県。栽培される花の種類も豊富で、中でも一本の茎に大きな花が一輪ついた「輪ギク」や色や形が変化に富んだ「トルコギキョウ」は県を代表する花です。



輪ギク「雪姫」

ふくおか農林水産
FUKUOKA Nōrin suisan

支

農林水産業を応援

水源のかん養、土砂災害の防止、
生態系の保全、文化の伝承など、
「食」を支えるだけでなく、
さまざまな役割を持つ農林水産業。
これらの役割を果たすためにも、
農村や森林、漁場を守る取り組みを
行っています。

健全な森林づくりを推進

各地に広がる、県民参加の森林づくり活動

県では、県民参加による森林づくり活動を支援するとともに、次世代を担う子どもたちに、森林の働きや大切さを学んでもらうため、学校への講師派遣など「森林環境教育」の取り組みを進めています。県民共有の財産である森林を守り育てるという気運は、着実に県内各地に広がっています。





中山間地域の振興

中山間地域の魅力を守る応援サポーター

中山間応援サポーターの募集について詳しくはこちら

棚田や果樹園が広がる中山間地域を守るため、特産品の収穫や地域の伝統行事のサポートなど集落から要請のあった各種活動にボランティアとして協力する、「中山間応援サポーター」。県では、住民とともに地域を盛り上げるサポーターを広く募集しています。

中山間 SUPPORTER





漁場環境保全の推進

漁業者と住民が連携して取り組む、漁場の環境保全



豊かな漁場を守るため、漁業者と地域住民が連携し、藻場では海藻を食害するウニの駆除、干潟では貝類の生息に影響を及ぼす貝殻の除去、海岸ではごみの回収といった取り組みが行われています。その他にも、漁業者による地元小学校と連携した環境保全学習会など、県では、これら環境保全活動を支援しています。



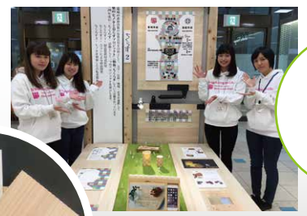
ちくらす

Topics

京築のヒノキと暮らすプロジェクト「ちくらす」

幹の中心部が赤く、艶があり、強度もある京築地域のヒノキ。この「京築ヒノキ」の良さを発信しようと、平成27年度に行政や大学、家具作家、森林組合がプロジェクトチームを発足。西南女学院大学や西日本工業大学の学生による市場調査やアイデアをもとに、家具や内装、木製品などの木材利用の提案、販売を目指すとともに、情報発信を行っています。

今年4月には、イタリアで開催されるデザインの世界的祭典「ミラノデザインウィーク」にプロジェクトで商品開発した名刺入れが出展されます。





福岡県政の動き

平成29年度

4月
- 「福岡県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」を施行
- 新しい「福岡県消防学校」の供用を開始
- 「医療に関する外国語対応コールセンター」を開設
- 九州国立博物館が「夜間開館」を開始

5月
- 「平成30年度伝統的工芸品月間国民会議全国大会」の福岡県開催が決定

6月
- 電話通訳サービス「ふくおかよかとこコールセンター」を開設
- 「福岡県オープンデータサイト」を開設

7月
- 「筑後広域公園プール」屋外50メートルプールがオープン
- **九州北部豪雨発生、応急対応と被災地の復旧に全力で取り組む**
- **「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」がユネスコの「世界文化遺産」に登録**
- 「福岡県観光振興指針」を策定
- 「子ども支援オフィス（田川オフィス）」を開設

8月
- ケニア共和国が2020年東京オリンピックの事前キャンプ地を久留米市に決定
- 九州北部豪雨災害被災地の観光復興を支援するため、旅行商品の割引を行う「ふくおか応援割」の販売を開始

9月
- 「介護応援宣言企業登録制度」を創設
- 観光プロモーション「『ご来福』しよう」を開始
- 「福岡県働き方改革推進大会」を初開催
- 全国和牛能力共進会で「博多和牛」を最高ランクの5等級に格付け
- 「介護と仕事の両立『休日街かど相談』」を開始
- 医療型障がい児入所施設「福岡県立粕屋新光園」が竣工

10月
- 「福岡県障がいを理由とする差別の解消の推進に関する条例」を施行
- **小石原焼・福島善三（ふくしまぜんぞう）氏が人間国宝に認定**
- 天皇皇后両陛下が朝倉市を御訪問
- **天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ「全国豊かな海づくり大会」を開催**
- 本県ゆかりの歴史資料を含む「朝鮮通信使に関する記録」がユネスコの「世界の記憶」に登録

11月
- ラグビーワールドカップ2019（TM）日本大会の試合日程が発表
- 「民生委員制度創設100周年記念大会」を開催
- 福岡ソフトバンクホークスが2年ぶりに日本一
- 「九州・山口70歳現役社会推進大会 福岡県大会」を開催

12月
- ブルガリア柔道チームが2020年東京オリンピックの事前キャンプ地を宗像市に決定
- オセアニア諸国が2020年東京オリンピックの事前キャンプ地を柳川市、みやま市、みやこ町、築上町に決定
- 「福岡県・江蘇省友好提携25周年記念訪問団」を派遣
- 女子7人制ラグビーロシアチームが2020年東京オリンピックの事前キャンプ地を宗像市に決定

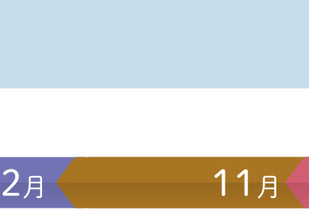
1月
- 「福岡県・デリー準州友好提携10周年記念訪問団」を派遣
- 「福岡地域発達障がい者支援センター」を開設

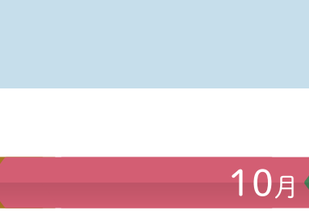
2月
- タイ国政府が福岡県内への総領事館設置を発表

3月
- 県営伊良原ダムが竣工
- 県営五ケ山ダムが竣工


●福岡ソフトバンクホークスの優勝パレード


●「世界の記憶」に登録された黒田家文書


●天皇皇后両陛下が朝倉市を御訪問


●博多和牛





●ケニア共和国が2020年東京オリンピックの事前キャンプ地を久留米市に決定


●九州国立博物館が「夜間開館」を開始


●新しい「福岡県消防学校」の供用を開始



●全国豊かな海づくり大会を開催

10月28日、29日、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ「第37回全国豊かな海づくり大会福岡大会」を宗像市で開催しました。本大会を福岡県で開催したのは初めてのことです。大会を通じ、本県が誇る水産業、水産物はもとより、歴史・伝統・文化など、本県のさまざまな魅力と元気の良さをアピールすることができました。



●「小石原焼」初の人間国宝認定

10月、東峰村の福島善三氏が「小石原焼」の技術で国の重要無形文化財保持者、いわゆる人間国宝に認定されました。本県における認定は、「献上博多織」の小川規三郎（おがわきさぶろう）氏に次いで14年ぶりのことです。この認定は、7月の九州北部豪雨により被災した小石原焼の窯元をはじめ、関係の皆さんの復興に向けた明るいニュースとなりました。



●世界文化遺産登録！

7月、「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」のユネスコ世界文化遺産への登録が実現しました。5月、ユネスコの諮問機関であるイコモスは、推薦した8構成資産のうち4資産のみの登録を勧告しましたが、世界遺産委員会の委員国の理解を求める努力を続けた結果、全構成資産の登録がかない、本県2つ目の世界遺産が誕生しました。



●一日も早く元の生活を

7月に発生した九州北部豪雨により、朝倉市、東峰村を中心に甚大な被害が発生しました。県では、発災直後から、人命救助など応急対応と被災地の復旧に全力で取り組んできました。引き続き、被災者お一人お一人の生活再建や商工業者、農林漁業者の事業継続支援、道路、河川など公共土木施設の災害復旧に取り組んでいきます。

調査特別委員会

調査特別委員会は、特定の案件を審査したり調査したりするため、必要に応じて設置されます。本県議会では、現在6つの調査特別委員会が設置されています。（◎印は委員長、○印は副委員長。委員構成は平成29年6月23日現在）

空港、防災及び水・エネルギー等社会基盤調査特別委員会

空港、防災並びに水、電力及びエネルギーの安定供給など社会基盤に関する諸施策の推進を図るため、福岡空港と北九州空港との一体的運用と機能強化などについて調査活動を行っています。

平成29年11月27日に委員会を開催し、「福岡県防災・行政情報通信ネットワークの再整備について」などを議題とし、調査を行いました。



写真向かって右から
伊豆美沙子　長松　裕海
尾縣　統章
井上　善彦
中村　忠敏
明彦
◎中尾　正幸
○大田　京子
佐々木　徹
川崎　俊丸
原田　博史
浜崎　達也
西尾　耕治
林　裕二

こども・子育て支援調査特別委員会

子育て支援及び子どもの健全育成その他少子化対策に関する総合的な施策の推進を図るため、これらの施策の現状及び対策について調査活動を行っています。

平成30年1月24日に委員会を開催し、「『若者の人生設計に関する意識啓発』、『結婚応援』について」などを議題とし、調査を行いました。



写真向かって右から
大田　満
井上　博行
松尾　嘉三
津田　公治
江藤　秀之
今林　久也
田中
◎井上　博隆
○壹岐　和郎
岩元　一儀
畑中　茂広
堤　かなめ
大城　節子
神崎　聡

生涯健康安心社会調査特別委員会

高齢者や障がい者など全ての県民が生涯健康で安心して暮らせる社会の実現に関する総合的な施策の推進を図るため、高齢者対策、障がい者対策について調査活動を行っています。

平成30年1月26日に委員会を開催し、「健康づくりに関する市町村への支援等について」などを議題とし、調査を行いました。



写真向かって右から
浦　伊三夫
岳　康宏
大島　道人
塩川　秀敏
吉松　源昭
田中　秀子
◎新開　昌彦
○野原　隆士
原中　誠志
大橋　克己
野田　稔子
田中　正勝
堀　大助
高瀬菜穂子

住・ひと・しごと創生調査特別委員会

産業の振興、雇用の創出、地域の活性化及び移住・定住の促進による人口減少問題対策等に関する総合的な施策の推進を図るため、地域中小企業の技術開発などの高度化支援対策などについて調査活動を行っています。

平成30年1月17日に委員会を開催し、「地域資源の活用による多様な『しごと』の場の創出について」などを議題とし、調査を行いました。



写真向かって右から
西元　健
吉村　悠
川端　一久
桐明　和
栗原　耕
原口　涉
剣　生
◎仁戸田元氣
○中牟田伸二
小池　邦弘
中村　誠治
渡辺　美穂
森下　博司
高橋　雅成
椛島　徳博

広域行政推進対策調査特別委員会

広域行政に関する諸課題を総合的に調査し、広域行政の円滑な推進を図るため、地方分権に係る税財源問題、広域的な成長戦略などについて調査活動を行っています。

平成29年11月29日に委員会を開催し、「世界遺産『〈神宿る島〉宗像・沖ノ島と関連遺産群』に係る取組みについて」などを議題とし、調査を行いました。



写真向かって右から
片岡　誠二
香原　勝司
阿部　弘樹
井上　順吾
松本　國寛
藏内　勇夫
吉村　敏男
冨田　徳二
二宮　眞盛
松下　正治
江口　善明
小河　誠嗣
◎十中　大雅
○佐々木　允

スポーツ振興・国際交流推進調査特別委員会

スポーツの振興及び国際交流に関する諸施策の推進を図るため、スポーツによる国際交流及びスポーツ振興、海外との友好交流、九州国立博物館活動等文化交流について調査活動を行っています。

平成30年2月8日に委員会を開催し、「キャンプ地誘致の取組みについて」などを議題とし、調査を行いました。



写真向かって右から
吉武　邦彦
渡辺　勝将
平井　一三
加地　邦雄
吉原　太郎※
武藤　英治
原竹　岩海
田辺　一城
今井　保利
大塚　勝利
山口　律子
古川　忠
◎秋田　章二
○板橋　聡

※吉原太郎委員は平成30年1月20日にご逝去されました。

県議会の動き

県議会の最近の取り組みについて、その一部の概要を紹介します。

九州各県議会議長会議およびJR九州への要望

12月26日、九州各県議会議長会議が那覇市で開催され、樋口明議長と守谷正人副議長が出席しました。

会議では、九州・沖縄未来創造会議の今後のあり方や、JR九州が3月のダイヤ改正で大幅な運行削減や駅の無人化を計画していることに対する決議案について審議が行われました。未来創造会議については引き続き継続していくことが、JR九州のダイヤ改正については「JR九州に対し鉄道利用者の安全・安心の確保及び路線の維持・充実を求める決議」が決定されました。



この決議については、1月9日にJR九州本社で要請活動を行い、樋口議長は併せて、九州北部豪雨で不通となっている路線についても、存続・早期復旧に努めていただくよう要望しました。

第159回全国都道府県議会議長会定例総会

1月26日、第159回全国都道府県議会議長会定例総会が東京都で開催され、本県議会から樋口議長が出席しました。



本会は、地方が抱える切実な課題などについて本会独自に、また全国知事会などと共に地方6団体として政府に要請を行うほか、各都道府県議会の発展のため、調査・研究などを行っています。

総会では、本会の活動に係る平成30年度予算(案)が審議され、原案のとおり決定されました。このほか、「平成30年度の地方税財政について」と題し、総務省事務次官の安田充氏による講演が行われました。

九州各県議会議員交流セミナー

2月7日「平成29年度九州各県議会議員交流セミナー」が長崎市で開催され、福岡県議会からは議員19人が参加しました。

本セミナーは、九州各県議会議員が一堂に会し、共通する政策課題などについて情報および意見交換を行うことにより、政策提案能力その他議会機能の充実を図るとともに、議員間の親睦を深め、共に九州の一体的な発展と地方主権の確立を目指すもので、今回が6回目の開催となりました。

今回は、日本貿易振興機構理事の前田茂樹氏による「グローバル化のなかの地方創生ージェトロの役割」と、させぼ四ヶ町商店街協同組合理事長の竹本慶三氏による「～まちを元気にする～」の2つの講演が行われ、九州各県から参加した約160人の聴講者は講師の話に熱心に耳を傾けていました。



福岡県・デリー準州友好提携10周年記念訪問団

1月15日から19日の日程で、樋口議長をはじめ、各会派の代表者や福岡県国際交流推進議員連盟の役員および会員が、小川洋知事らと共に、インド・デリー準州を訪問しました。

本県とデリー準州は、平成19年に友好提携を締結し、これまで、環境や青少年の分野で交流を重ねてきました。今回の訪問では、デリー準州のアルビンド・ケジリワル首相やラム・ニワス・ゴエル準州議会議長を表敬訪問するとともに、友好提携締結10周年記念式典に参加し、友好関係をさらに発展させていくため新たな覚書を締結しました。



今回の覚書では、新たに「大気汚染」をテーマに環境分野の交流をより一層充実させていくとともに、「文化、遺産」の分野でも交流を始めていくこととしています。

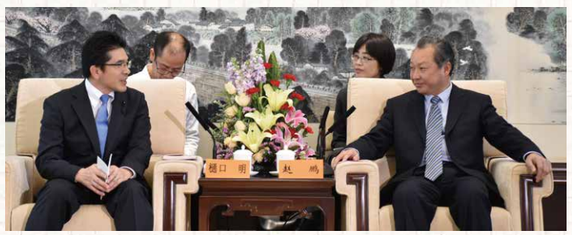
福岡県・江蘇省友好提携25周年記念訪問団

12月21日から24日の日程で、樋口議長、松本國寛福岡県日中友好議員連盟顧問をはじめ、各会派の代表者や福岡県日中友好議員連盟の役員および会員が、小川知事らと共に、中国・江蘇省を訪問しました。



本県と江蘇省は、平成4年に友好提携を締結し、これまで、環境、経済、青少年、文化・学術など幅広い分野で交流を深めてきました。今回は、江蘇省での友好提携締結25周年記念事業に参加し、友好関係のさらなる発展を図るために訪問したものです。

22日は、江蘇省人民代表大会を表敬訪問し、趙鵬(ちょうほう)常務委員会副主任と会談。樋口議長は「友好提携25周年を機に、両県省の友好がより一層深まることを期待しています」とあいさつしました。また、福岡県と江蘇省の友好のシンボルとして1996年に開園した「福岡・江蘇友好桜花園」などを視察した後、「福岡県と江蘇省の友好提携関係のさらなる発展に関する協議書」署名式に参加しました。





また、24日には、25周年記念事業の一環として、八女茶の伝来元である蘇州で開催された「福岡県・江蘇省友好茶会」に参加しました。

グラフ ふくおか 春 2018 SPRING
No.590 GRAPH FUKUOKA

情報広場 Information Square

観覧料の割引など詳細については、各施設にお問い合わせください。

福岡県立美術館

「息を呑む繊細美 切り絵アート展」

日本を代表する切り絵作家11人の作品を紹介します。切り紙や影絵など多彩なジャンルで独自の感性と手法を駆使した合計110点の究極の“カミワザ”は、見る人を一瞬にして異空間に導きます。



倪瑞良（にいみずよし）「薔薇色の季節」1999年

- 会　期　4月20日(金)～6月3日(日)
- 観覧時間　10時～18時（入場は17時30分まで）
- 休館日　月曜日　※ただし4月30日(月・祝)、5月1日(火)は開館
- 観覧料　一般1,200円(1,000円)、高大生800円(600円)、小中生500円(　300円)
  ※(　)内は前売り、または20人以上の団体料金
- 交通アクセス
  ◎西鉄バス「市民会館前」下車　徒歩約2分
  「天神北」下車　徒歩約5分
  ◎福岡市地下鉄空港線 天神駅下車　徒歩約10分
  ◎西鉄天神大牟田線 福岡(天神)駅下車　徒歩約15分
- 期間中のイベント
  ◎アクロス・ミュージアムコンサート in 県美
  日　時：5月5日(土・祝)　①13時30分～②15時～
  会　場：2階ロビー　※参加無料、申込不要

問い合わせ　**福岡県立美術館**　福岡市中央区天神5-2-1(須崎公園内)　☎092-715-3551　ファクス092-715-3552　http://fukuoka-kenbi.jp/

九州歴史資料館

特別展「大宰府への道−古代都市と交通−」

日本三大史跡の一つとされ、福岡県を代表する歴史的文化遺産「大宰府史跡」は、今年、発掘調査50年の節目を迎えます。

近年急速に解明が進みつつある「都市」としての大宰府のほか、飛鳥や奈良の都、九州各地の国府の姿を関連資料をもとに紹介し、これらを結ぶ交通に焦点を当てた大規模な展示を行います。



駅鈴（えきれい）（国指定重要文化財）

- 会　期　4月24日(火)～6月17日(日)
- 観覧時間　9時30分～16時30分（入場は16時まで）
- 休館日　月曜日　※ただし4月30日(月・祝)は開館
- 観覧料　一般200円(150円)、高大生150円(100円)
  ※(　)内は20人以上の団体料金、中学生以下・65歳以上の人・障がいのある人とその介護者1人は無料、土曜日は高校生も無料
- 交通アクセス　◎西鉄天神大牟田線 三国が丘駅下車　徒歩約10分
  ◎九州自動車道 筑紫野ICまたは大分自動車道 筑後小郡ICから車で約15分
- 期間中のイベント
  ◎夕べのギャラリートーク
  学芸員による展示資料の解説を行います。
  日時：4月27日(金)・5月25日(金) 16時30分～17時30分
  ※申込不要、上記観覧料が必要です。
  ◎特別展開催記念茶会
  日時：5月20日(日)10時～15時　※申込不要、料金：300円
  ◎記念講演会「大宰府への道(仮)」
  日時：6月3日(日) 13時30分～16時　※参加無料、申込不要
  講師：佐藤（さとう）信（まこと）氏(東京大学大学院教授)

問い合わせ　**九州歴史資料館**　小郡市三沢5208-3　☎0942-75-9575　ファクス0942-75-7834　http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/kyureki/

九州国立博物館

特別展「至上の印象派展 ビュールレ・コレクション」

生涯を通じて絵画収集に情熱を注いだスイスの大実業家エミール・ゲオルク・ビュールレ(1890-1956)のコレクションの数々を紹介します。

ルノワール、ゴッホ、モネ、セザンヌ、マネ、ピカソなど、世界の巨匠の代表作が一堂に集結します。



ピエール＝オーギュスト・ルノワール《イレーヌ・カーン・ダンヴェール嬢（可愛いイレーヌ）》
© Foundation E.G. Bührle Collection, Zurich (Switzerland)Photo: SIK-ISEA, Zurich (J.-P. Kuhn)

- 会　期　5月19日(土)～7月16日(月・祝)
- 観覧時間　9時30分～17時　毎週金・土曜日は20時まで開館延長（入館は閉館時間の各30分前まで）
- 休館日　5月21日(月)、6月4日(月)、6月18日(月)、7月2日(月)
- 観覧料

	通常料金	夜間割引料金
一　般	1,600円(1,400円)	1,400円
高大生	900円(　700円)	700円
小中生	500円(　300円)	300円

※夜間開館日の17時以降に当館内券売所で割引チケットを販売
(　)内は前売り、有料の人が20人以上の団体料金

- 交通アクセス　◎西鉄太宰府線 太宰府駅下車　徒歩約10分
  ◎九州自動車道 太宰府ICまたは筑紫野ICから車で約20分

問い合わせ　**九州国立博物館**　太宰府市石坂4-7-2 ☎ハローダイヤル050-5542-8600　ファクス092-929-3276　http://www.kyuhaku.jp/

福岡県広報のごあんない

■テレビ番組
TVQ「飛び出せ！サークル“ふくおか研”」毎週土曜日放送/20時54分～21時
RKB「福岡県庁知らせた課」毎週日曜日放送/16時54分～17時

■ラジオ番組
FM福岡「福岡県だより」毎週月・木曜日/9時35分～9時40分

■インターネット
福岡県ホームページ
http://www.pref.fukuoka.lg.jp/
ふくおかインターネットテレビ
http://webtv.pref.fukuoka.lg.jp/

Twitter(ツイッター)公式アカウント
アカウント名　前…福岡県庁
ユーザー名…@Pref_Fukuoka
https://twitter.com/Pref_Fukuoka

LINE@(ラインアット)公式アカウント
アカウント名　前…福岡県庁
ユーザーID…@pref_fukuoka
LINE@

■広報紙配信アプリ「マチイロ」 **グラフふくおか** をスマホで！
ダウンロードはこちらから
マチイロ

■新聞
「福岡県からのお知らせ」
偶数月の第3日曜日の新聞にお知らせ掲載

■世帯向け広報紙
「福岡県だより」奇数月に発行

通巻590号　平成30年3月20日発行(季刊)
発行／福岡県 県民情報広報課
〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号 ☎092(643)3102(直通) ファクス092(632)5331
福岡県広報部長 エコトン
この広報誌は再生紙を使用。印刷用の紙へリサイクル可。
印刷／福博綜合印刷株式会社